

# 藤田眼科(徳島市)の中荃医師

# タンザニアで奉仕手術

藤田眼科(徳島市佐古六番町)の中荃敏明医師(45)が、日本眼科国際医療協力会議のタンザニア眼科支援チームに加わり、現地で白内障手術や医師の指導をボ

ランティアで行った。資金不足による医療技術の遅れや、貧困で十分な医療が受けられない現状を目の当たりにし、さらなる支援活動に意欲を燃やしている。



中荃敏明医師

チームは、藤田眼科の藤田善史院長(65)によるミャンマー医療支援活動に参加した愛知県春日井市の山崎俊医師(52)が、2007年に設立。年1、2回、タンザニアの最大都市ダルエスサラームのムンビリ大学病院で、超音波による白内障手術や技術指導をしたり、医療機器を寄付したりしている。

## 現地眼科医の研修に意欲



ムンビリ大学病院で手術する中荃さん(左)＝6月、ダルエスサラーム(中荃さん提供)

販売業者の紹介で、今年初めて参加。6月に現地を訪れ、大学病院で患者24人を手術した。講演会も開き、現地の医師約20人に手術方法などを指導。中古の医療機器や点眼薬など数万円に対し、手術費用は7千円〜4万円が必須。治療を受けられずでは切開部位が小さく合併症の恐れも低い超音波手術が一般的。しかし、タンザニアでは手術してもらったり、日本で研修を受けてもらったりするプログラムが整っていない上、国内に眼科医が約30人しかおらず、普及してを定着させるために支援を続けたい」と話し

(新居和人)

ども寄贈した。は7千円〜4万円が必須。治療を受けられず

では切開部位が小さく合併症の恐れも低い超音波手術が一般的。しかし、タンザニアでは手術してもらったり、日本で研修を受けてもらったりするプログラムが整っていない上、国内に眼科医が約30人しかおらず、普及してを定着させるために支援を続けたい」と話し